

バレーボール競技実施要項

1. 主 催 佐世保工業高等専門学校
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 主 管 九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟バレーボール競技専門部
長崎県バレーボール協会
3. 後 援 佐世保市
4. 大会期日 令和8年6月27日（土）・28日（日）
5. 大会会場 東部スポーツ広場（メインアリーナ・サブアリーナ）
（長崎県佐世保市浦川内町無番地）
6. チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内、計17名以内とする。
7. 競技規則 2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。

8. 競技方法

- (1) 男子については、出場チームを3ブロックに分け、ブロック別に予選を第1日目に行い、各ブロック上位2チームの計6チームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。なお、出場チーム数が8チーム以下の場合は2ブロックとし、決勝トーナメント戦は各ブロック上位2チームの計4チームで行う。ただし、予選の4チームのブロック（四角形ブロック）において棄権チームがあった場合は、残り3チームによるリーグ戦に変更する。

女子については、出場チームを3ブロックに分け、ブロック別に予選を第1日目に行い、各ブロック最下位以外のチームによる決勝トーナメント戦を第2日目に行う。なお、出場チーム数が8チーム以下の場合は2ブロックとし、決勝トーナメント戦は各ブロック最下位以外のチームで行う。ただし、予選の4チームのブロックにおいて棄権チームがあった場合は、残り3チームによるリーグ戦に変更する。また、出場チーム数が5チーム以下の場合は1ブロックでのリーグ戦のみとし、競技方法（4）ア、イ、ウ、エに基づいて順位を決定する。

- (2) 予選では、前年度の優勝及び準優勝チームをシードする。
なお、シードの位置は、出場チーム数により別途定める。
- (3) 決勝トーナメントの組合せは、最初に各ブロック1位の3チームの順位を、予選成績をもとに（4）の方法で決め、1位より順に1、6、4に配置する。その後各ブロック2位のチームを、同じ予選ブロックの1位チームと反対のパートになるように配置する。なお、予選が2ブロックの場合は、準決勝は1位チームと反対側ブロックの2位チームの対戦となるようにする。

- (4) 上位チームの選出は次の方法による。

ア 勝率の高い方を上位とする。

イ 勝率が同率の場合は、取得セット率の高い方を上位とする。

ウ 取得セット率が同率の場合は、得点率の高い方を上位とする。

エ 得点率が同率の場合は次の方法による。2チームで当事者同士の試合が行われた場合は、勝った方のチームを上位とする。その他の場合は抽選によって決定する。

オ 棄権チームがあつてブロックのチーム数が2チームとなった場合、予選の各ブロック1位チームの順位は、勝率とセット率で決定し、得点率は考慮しない。

なお、勝率・セット率ともに同率の場合は抽選で決定する。ここで、棄権チームとの

対戦成績は、セットカウント2－0の勝ちとする。

カ 女子の4チームのグループ戦の代表チームは、敗者復活戦方式による、3チームの勝ち上がり方式によって決定する。

(5) 全試合3セットマッチとする。

(6) 3位決定戦は行わない。

(7) 前の試合が長引き、試合開始が遅れる場合は、前の試合終了10分後にプロトコールに入る。ただし、当該チームが連続試合となる場合は20分後とする。なお、決勝トーナメントは、両コート同時刻に試合を開始する。

9. 注意事項・その他

(1) 使用球は、(公財)日本バレーボール協会公認カラーボール検定球5号とする。

(男子 ミカサ：V300W、女子 モルテン：V5M5000)

(2) 監督、コーチ、マネージャーは、統一された服装とし、シャツについては襟付きのものを着用すること。また、マークは各チームで用意し着用すること。

(3) 選手は、(公財)日本バレーボール協会に登録した者とし、監督会議までにチーム加入選手一覧を提出すること。

(4) 上記3のチーム人員の他に、4名の補助学生を線審等の審判補助員とする。

(5) 各試合の審判補助員は、線審4名、記録1名、記録補助1名、点示2名とし、線審4名と記録1名は登録メンバー及び補助学生の中から出す。なお、男子の試合の線審は、女子の補助学生は担当できない。

(6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。